

ひなたのバロック #2

HINATA no BAROQUE

あの「ハレルヤ」の ヘンデルが実は…!?



2022年2月23日(水・祝) 開場/13:30
開演/14:00

メディキット県民文化センター 演劇ホール
(宮崎県立芸術劇場)

●チケット情報 ※全席自由 ※()内はくれっしえんど倶楽部会員価格

[全席自由] ■一 般/3,000円(2,700円)
■U25割/1,500円 ※鑑賞時25歳以下

●チケット販売開始

■くれっしえんど倶楽部会員 12月5日(日) ■一 般 12月12日(日)
※就学前のお子様の入場はご遠慮ください。
※車椅子席・介助席は、メディキット県民文化センターチケットセンターのみの取り扱いとなります。
※当日券が出る場合は500円増しとなります(ただしU25 割を除く)。販売は当日の午前10時から窓口・電話で行います。
※U25割は、年齢の確認ができる身分証の提示をお願いする場合があります。

●チケット取扱い

・メディキット県民文化センターチケットセンター 0985-28-7766
[窓口・電話受付] 10:00~18:30 (月曜休館 ※月曜が祝日の場合は翌平日休館)
[WEB] 劇場HPで24時間予約・購入できます。
・チケットぴあ (webサイトのみ取扱い)

●主催・お問合せ



宮崎県立芸術劇場
MIYAZAKI PREFECTURAL ARTS CENTER

☎0985-28-3208
<http://www.miyazaki-ac.jp>

出演 大塚 直哉(企画・監修/チェンバロ)
三ヶ尻 正(ヘンデル研究家)
桐山 建志(バロック・ヴァイオリン)
佐藤 裕希恵(ソプラノ)
戸高 美穂(フラウト・トラヴェルソ)

曲目 G.F.ヘンデル:

- ・オラトリオ『メサイア』第3部から「私は知っている」
- ・歌劇『エジプトのジュリオ・チェーザレ』から「つらい運命に涙はあふれ」
- ・トリオ・ソナタ ロ短調
- ・シャコンヌ ト長調 ほか

※都合によりプログラムが変更になる場合がございます。
あらかじめご了承ください。

●助成: 文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会



○出演者プロフィール



大塚直哉

(企画・監修／チェンバロ)
Naoya Otsuka

東京藝術大学大学院チェンバロ専攻を経て、アムステルダム音楽院オルガン科およびチェンバロ科を修了。バッハ・コレギウム・ジャパンや東京ゾリステンなどのアンサンブルにおける通奏低音奏者としての活動のほか、オルガン、チェンバロ、クラヴィコードのソロ奏者としても日本やヨーロッパなど各地で活発に活動を行っている。現在、東京藝術大学教授、国立音楽大学非常勤講師、宮崎県立芸術劇場オルガン事業アドバイザー。またオルガンやチェンバロ、クラヴィコードなどむかしの鍵盤楽器に初めて触れる人たちのためのワークショップを各地で行っている。「アンサンブル・コレディエ」音楽監督。NHK-FM「古楽の楽しみ」案内役として出演中。



三ヶ尻 正

(ヘンデル研究家)
Tadaschi Mikajiri

東京大学文学部英文科卒。ヘンデル研究・オラトリオ研究、声楽家の発音指導(英・独・羅)、字幕・対訳制作に従事。言語指導では、テキストの解釈や韻律法に加え、音声学に基づいた科学的なアプローチに、字幕・対訳では原典のことは大切にしたわかりやすい日本語訳に定評がある。著書・訳書に『メサイア・ハンドブック』『ミサ曲・ラテン語・教会音楽ハンドブック』『ヘンデルが駆け抜けた時代』『ヘンデル創造のダイナミズム』(共訳)など。新国立劇場オペラ研修所講師、国立音楽大学大学院非常勤講師。日本音楽学会、日本ヘンデル協会、日本イタリア古楽協会会員。



佐藤 裕希恵

(ソプラノ)
Yukie Sato

東京藝術大学声楽科卒業、同大学院古楽科修士課程修了。修了時にアカンサス賞受賞。2011年よりバーゼル・スコラ・カントルムの修士課程で学び、中世からバロック、オペラまで幅広いレパートリーにおいて知見を深める。国際古楽コンクールCanticum Gaudium第1位(ポーランド)、国際古楽コンクール「山梨」第1位(日本)、国際ヘンデルアリアコンクール第3位(USA)はじめ数多く受賞。オラトリオやバロックオペラのソリストとして欧州各地で数多く出演し、A.マルコン、アンサンブル・ジル・パンショワなど世界屈指の古楽演奏家、アンサンブルと数多く共演。瀧井レオナルド(リュート)とのデュオ『ヴォクス・ポエティカ』では精度の高い演奏で人気を集める。

○交通・託児のご案内



●JR日豊本線

・「宮崎駅」から：タクシー約10分 ・「宮崎神宮駅」から：タクシー約5分・徒歩約20分

●高速道路

・宮崎自動車道「宮崎IC」から国道220号を「延岡・宮崎」方面へ車で約20分
・東九州自動車道「宮崎西IC」から国道10号を「宮崎市内」方面へ車で約15分

●宮崎空港

・タクシー 約30分 ・バス(宮崎市街方面行き「橋通3丁目」乗り換え)約40分

●その他(延岡方面から)

・車で国道10号を宮崎神宮・平和台方面に向かって南下

●託児サービスについて

- 対 象／6ヶ月～12歳まで
- 料 金／お子様おひとりにつき1,000円(税込)
- 申込先／NPO法人みやざき子ども文化センター
(TEL: 080-4694-8686)
- 問い合わせ時間／月～金(土日祝休み) 10:00～18:00

※お申し込みは公演日の7日前まで。キャンセルされる場合は3日前までにご連絡ください。

あの「ハレルヤ」の ヘンデルが実は・・・!?

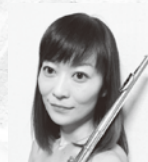
光輝くバロック音楽のイメージを代表する作曲家は、何と言ってもG.F.ヘンデル。しかし最近の研究で、その音楽には政治と関わる「策士」の痕跡も見え隠れすることがわかってきました。ひょっとしたら、よく耳にするあの曲にも、知られざる事情があったのかも…?ヘンデル研究家の三ヶ尻正をゲストに、当時の政治状況のお話などもあわせて、ヘンデルの室内楽、オペラアリアなど古楽器による艶やかなヘンデル節をたっぷりご堪能ください。



桐山 建志

(バロック・ヴァイオリン)
Takeshi Kiriyama

東京藝術大学を経て同大学院修了、フランクフルト音楽大学卒業。1998年古楽コンクール(山梨)第1位、1999年ブルージュ国際古楽コンクール第1位。レコード芸術特選盤「シャコンヌ」を皮切りに多数のCDをリリース。ベーレンライター社より星野宏美氏との共同校訂「メンデルスゾーン：ヴァイオリン・ソナタ全集」の楽譜を出版。現在、愛知県立芸術大学教授、フェリス学院大学講師。「松本バッハ祝祭アンサンブル」コンサートマスター等としても活躍。チェンバロの大塚直哉と共にデュオ・ユニット「大江戸バロック」を主宰。



戸高 美穂

(フラウト・トラヴェルソ)
Mibo Todaka

東京藝術大学音楽学部卒業後、渡欧。ウィーン国立音楽大学音楽学部、及び同大学院を修了。在学中、在オーストリア大使公邸、日本大使公邸などで招待演奏、プラハ音楽祭に出演するなど多方面にて活躍する。全日本学生音楽コンクール福岡大会第1位、同年ソリストとして九州交響楽団と共演。2011年宮崎国際音楽祭管弦楽団メンバーとして出演。これまでに宮崎にて二度のソロリサイタルを開催。近年ではモダンフルートだけでなく古楽器での演奏活動にも力を注いでいる。

●宮崎交通バス(橋通方面から)

- ①「文化公園」行き 終点「文化公園」下車→徒歩1分
- ②「宮崎神宮」行き 終点「宮崎神宮」下車→徒歩5分
- ③「国富・綾」「平和ヶ丘」または「古賀総合病院」行き
「文化公園前」下車→徒歩1分
- ④「平和台」行き 「霧島3丁目」下車→徒歩4分

メディキット県民文化センターには専用の駐車場はありません。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

